

DESCENTE Voice CSR NEWS

株式会社デサント
CSRニュース Voice
発行：デサントCSR推進室
〒543-8921
大阪市天王寺区堂ヶ芝1-11-3
TEL. (06) 6774-0327



Volume 6 / October 2015



ハイレベルなスポーツ体験で、
被災地の子どもたちを
もっと元気に、より健やかに

「すこやかキッズスポーツ塾 東北支援2015」をスタート!



CSR Topics

選択的CSR

社会貢献活動

「すこやかキッズスポーツ塾 東北支援2015」

すこやかキッズスポーツ塾とは、「こどもたちがスポーツを好きになり、健康になってもらうこと」を目指して活動をしている、児童向けスポーツ体験型プログラムです。元オリンピック選手などトップアスリートを塾長に迎え、スポーツをする機会が減り体力・運動能力が低下傾向にある現代の児童に、レベルの高いスポーツ体験の機会を提供します。参加費は無料です。デサントが主体の「すこやかキッズスポーツ塾実行委員会」が運営し、2006年より継続して開催しており、2015年で10周年を迎えます。

デサントグループでは2015年度の社会貢献活動の方向性を「子どものスポーツ機会の充実」と定めています。社会課題としての少子化とそれと並行して進行する子どものスポーツ離れは、当

社の課題でもあります。「スポーツを遊ぶ楽しさ」は健全な心身を育て、ルールは倫理感を育てます。競い合うことの楽しさは仲間をつくり、勝つことの嬉しさはアスリートを育てます。これらの実現に向けて、学校や地域においてスポーツ機会を増やす活動を積極的に進めていきます。

東北支援についても、東日本大震災の翌年からスタートした「東北元気アップ教室」は所期の目的を達成したと考え、2015年度からは子どもたちを対象に「すこやかキッズスポーツ塾」を東北地区で開催し、支援を継承します。その第一弾を、石巻市にて宮城県石巻市教育委員会、NPO法人石巻復興支援ネットワーク、石巻ふるさと復興協議会ほか、多くの皆さまのご協力のもと開催しました。

今回のプログラム内容

学校訪問（塾長／田中 光） 実施日：2015年9月4日（金）

学校名	住所	対象	人数	実施時間帯
向陽小学校	石巻市向陽町	2年生	68名	9:40～10:25
		1年生	78名	10:50～11:35
学校名	住所	対象	人数	実施時間帯
北村小学校	石巻市北村字幕ヶ崎	1、2、3年生 4、5、6年生	83名	13:50～14:35 14:40～15:25

1996年アトランタオリンピック体操日本代表の田中 光氏を塾長に迎え、各学校の要望に沿って、音楽に合わせたリズム運動や跳び箱を含む指導を実施。倒立前転や後転倒立、側転連続、後方宙返りなど、マット運動の模範演技を盛り込みながら楽しいトークとともに進化した指導では、すぐ目の前で繰り広げられる迫力満点の技に、児童から大きな歓声と拍手が巻き起こっていました。



関係者の「Voice」

Professor



塾長
流通経済大学
社会学部 教授
田中 光氏

自分自身が小さい頃から音楽をやってきたこともあり、「運動と音楽の融合」を目指しています。鉄棒の逆上がりは、技の構造上、かなり難しい運動です。理論を理解しようとして実施してもなかなかできないことが多いですね。そんな時は、運動をリズムで捉える方法がお勧めです。リズムの勢いに乗って習得するのです。私はオリジナルリズム体操に、運動技能の上達につながる様々な要素を取り入れたティーチャーヒカルプログラム（THP）の実践を通して、子どもの体力・精神力の向上を願っています。



016
実施小学校
石巻市立
向陽小学校 校長
奥田 茂人氏

学校教育の中で子どもたちに体力をつけることは、やさしくありません。先生も体育・音楽・図工を含む全部の教科を上手にこなしていくのは簡単ではないのです。今回は子どもたちの体力向上だけでなく、先生の研修にもなりました。田中先生が子どもたちのやる気を引き出しています。学校の先生は、生徒の行動や言語にいちいち反応してしまうのですが、田中先生はお構いなしにどんどん進めていきます。これはなかなかできるものではなく、勉強になりました。そして、休む暇を与えず、だんだん難しくなっていくプログラムに、子どもも夢中になっていったのです。今後も数多く機会を与えてほしいと思います。学校も行事がビッシリですが、子どものためになる活動なので、運動好きの子どもを育てていくために一緒に努力していきたいです。

Teachers



017
実施小学校
石巻市立
北村小学校 校長
小松 徹氏

教育委員会から今回の開催に関する連絡が回ってきて、教師と話し合い、優れた取り組みとして受け入れました。このような活動はこれまでも若干はあったものの、小規模な学校で実施していただき、ありがとうございます。田中先生独自のパフォーマンスを取り入れながら上手に教えていただきました。跳び箱でもコツがあって、それを工夫しながら教えていただき、もしかしたら「体操選手になりたい」子どもが出てくるかも、という可能性に期待しています。

地域訪問（塾長／野沢 咲子）

子ども向け体操教室

場所：まちの寄合所うめばたけ（30畳）

日程：2015年9月5日（土）10：00～11：00

対象：石巻市およびうめばたけ図書室を利用する小学生以下15名

内容：リズムダンス

史上最年少選手としてモントリオールオリンピックに体操で出場し、日本が不参加だったモスクワオリンピックでも日本代表に選出された野沢咲子氏を塾長に迎え、塾長自らがアレンジした音楽に合わせてダンスを指導。年齢差とダンス経験差のある参加者を、3つのグループに分けてゆっくりと丁寧に指導しました。各グループとも上手な児童がリードしていくと、初めはぎこちなかった動きも次第にリズムに合うようになり、最後には各グループが自分たちで考えた「決めポーズ」を披露しました。



関係者の「Voice」

Instructor



トータル・オリンピック・レディーズ会 幹事
野沢 咲子 氏

トータル・オリンピック・レディーズ会（TOL）の幹事をしていることもあり、TOLを通して今回のお話をいただきました。オリンピックに出場した経験を活かして何かできることがあれば広めていきたいという気持ちを持っていたので、お話をいただいたときに、ぜひ子どもたちにリズム体操を通して身体を動かす楽しさを感じてもらいたい、と思いました。

今回は宮城県石巻市という、東日本大震災で甚大な被害を受けた場所での指導だったので、私自身も、とても強い思いがありました。震災のあと、こんな私でも何かお役に立つことはないのだろうかと思っていましたので、今回、石巻の子どもたちとの触れ合いを楽しみにしていました。小学1年生から6年生までという、年齢差のある子どもたちの指導経験はあまりないのでどうなるかと思いましたが、それぞれのレベルで一生懸命、頑張ってくれました。高校生のボランティアのお姉さんたちもお手伝いしてくれたので、和気あいあいとした中でとてもスムーズに進められました。

可愛い子どもたちと楽しく過ごせて、私自身が癒されました。とても笑顔の可愛い子どもたちでした。未来ある子どもたちに今後もたくさん経験を重ねてもらいたいと思います。可能性を広げるためにも、各地でこのようなイベントを数多く開催していただけたら、と思います。

018

塾長

後援先

NPO法人
石巻復興支援
ネットワーク
副代表理事
萱場 祐子 氏

震災後、被害の大きかった石巻では体を動かす場所が少なくなり、子どもたちの運動離れが心配されています。スポーツ少年団に加入している一部を除き、ゲームなどで遊ぶ子どもたちが多いのが現状です。また、両親が共働きで、スポーツ少年団に入れない児童もたくさんいます。このような状況の中、スポーツ塾の開催で、少しでも多くの子どもたちが体を動かす楽しさを知る機会になったと思います。

今回は、ジュニアリーダールーの子どもたちの協力もあり、参加した児童も本当に楽しそうでした。また、親御さんからも「楽しかった」という感想をいただきました。会場が少し狭かったかもしれませんが、お互いの顔がはっきり見えてよかったと思います。また、上記TOL幹事の野沢さんの感想のとおり、幼稚園から小学校6年生までと参加者の年齢の幅が広がったので、運動の構成などを低学年に合わせることでいいと思います。

震災から4年半が経ち、落ち着いたと思われがちですが、中学生などの不登校や、いじめの問題なども、今にはなっていない少なからずあります。子どもたちのため、これからも、末永くご支援いただけたらと思います。スポーツで石巻を元気にするため、デサントさん主催のデサント杯などのスポーツの祭典を運営していただければ嬉しいです。